

世界はあなたが思うほど悪くない

2022年7月 眞鍋由比

今年の読書運動のテーマは「変化」。Classiやホームページ、twitterに教職員の案内記事を載せていますので、ご覧下さい。全校でPOPをつくります。また、今年は**ジャパナレッジスクール**も使えますので、搭載されている新書・漫画などから読む本を選んでくれても構いません。紙の本でなくてもできる読書運動、楽しんでください。

それからこの9月に図書館のホームページをリニューアルしますので、ひとまず司書の部屋は7月で終了させていただきます。

さて「変化」！『それでも、世界はよくなっている』ラシュミ・サーデシュパンデ著 亜紀書房 2022

人間は良いほうに変化している？退化していないか？みなさんは昔はよかった、なんていう年齢ではないけれど、正直、ウクライナの戦争の話や、安倍元首相が統一教会がらみで暗殺された事件など考えるだけで暗い未来しかないような気持ちになってしまいますよね。

太古、人間は身を守るために不安な要素を気にするように脳ができている。だから不安を感じるニュースに非常に敏感に反応し、現代は過多といってもいい情報化社会だ。反応の大きなニュースが大きく取り上げられ、ささやかな善行は埋もれやすい。この本には信じられる情報の見方が載っています。

フェイクニュースかどうか、調べる方法は、

①そのニュースを読んだらどういう気持ちになるか 記事を書いた人はどう感じてほしいと思っているか。あおろうとしていると感じたら要注意。

②日付をチェック ときどき何年も前のニュースがさぞ昨日おこったことのように流れてきたりする。古いものなら状況が変わっているのだからまるごと信じてはいけない。

③専門者の意見が入っているか 公的機関の情報をもとにしているかどうか。フェイクニュースはたいてい誰かの意見を反映しているものが多い。

④事実確認できるか信頼できるウェブサイトにそのニュースがでできるか。最低3つは確認して

⑤ウェブサイトがgov.とかac.とかcom. になっているか。ちゃんとしたサイトなら4回校正しているから文法や誤字はないはず。またまともなニュースサイトは太字、下線、感嘆符は使わない。

人間はだれかが痛い思いをしている気分になるという研究結果がある。そして持ち寄ったアイディアを元に時間をかけて物事を進めていけるのは人間だけらしい（人類学者）。

「勇気は伝染しうるし、希望はひとり歩きを始められると歴史が示しています」
ミシェル・オバマ

たとえばウガンダは村の議会から国会に至るまで身体障害者が議員の一定数をしめなくてはならない。ウガンダは世界のどの国よりも身体障害者の政治化が多い国だ。黒人・エスニック・女性。マイノリティからどんどん政治家が生まれている。

日本ではほんの70数年前まで女性は選挙権すらなかった。けど今は普通に認められている。選挙権すらもっていなかった時代の方がずっと長いのに。

不公平だと思うことをどうすれば変えられるのか。この本にその方法が載っています。最初から大きなことをしなくてもいい。すこしずつできることから、たとえば身近な人に話をすることから始めましょう。あなたは世界を変えられます。いい方向にも、悪い方向にも。

